



顔の見える関係から始まる人とのつながりは、地域を支える大切な力です。サークルや趣味の仲間、ご近所同士の助け合いなど、身近な交流は、これからの人生を豊かに彩ります。「つながる通信」では、そんな人と人とのつながりを「地域のお宝」としてご紹介します。

藪塚地区



やぶづかかるとかるとあそびの会



令和8年2月28日(土)に藪塚本町中央公民館で「やぶづかかるとかるとあそびの会」が開催されました。やぶづかかると運営委員会が主催し、当日は33名の方が参加しました。

今回のイベントは、やぶづかかるとの存在を多くの方に知ってもらい、藪塚の歴史を学ぶことを目的に開催されました。当日は、5歳から90歳まで幅広い年代の方が集まり、世代を超えた交流の場となりました。



やぶづかかるとは昭和62年6月27日に「やぶづかかると作成委員会」によって作成されました。
読み札は公募し、861点の中から選ばれ、絵札は当時の小・中学生と絵画クラブが作成しました。

地域のお宝発見 ～太田市生活支援体制整備事業～

やぶづかかると運営委員会



主催者であるやぶづかかると運営委員会は、かるたを通して地域の歴史や文化に親しみ、人と人とのつながりを育むことを目的に活動しています。メンバーは、やぶづかかるとの魅力地域に発信したいという想いで集まった9名で構成されています。令和7年10月に、代表の大川加代子さんの声掛けをきっかけに発足しました。

次回のイベントは5月16日(土)に決定しました。

メンバー募集中!

代表 大川加代子さんコメント

やぶづかかるとという貴重な地域資源が十分に活用されていないことを惜しく思い、運営委員会を立ち上げました。子どもたちには楽しみながら藪塚の歴史を学んでほしいですし、高齢者の皆さんにも、かるたを通して懐かしい思い出に触れていただきたいという思いで活動しています。今後も、かるたを活用した企画を考えていきます。



参加者にお話を伺いました

寺下さん親子 (写真左)

ヌパヘワゲさん親子 (写真右)

息子さん同士が同級生です。

「上毛かるたはやったことがあるが、やぶづかかるとは今回はじめてやりました。また機会があったら参加したいです」とお話をされていました。



Point

当日は、子どもから大人まで多くの方が参加し、多世代の交流が育まれていました。大人の参加者からは、「解説を聞いて初めて知ることがあった」という声も聞かれ、地域について改めて学ぶ機会になりました。子どもだけでなく、大人にとっても地域の魅力を再発見できる良い取り組みだと感じました。

〈お問合せ〉

太田市社会福祉協議会 地域福祉係

住所：太田市飯塚町1549 電話：0276-46-6208



Instagram



つながる通信